

○わたしたちにできること

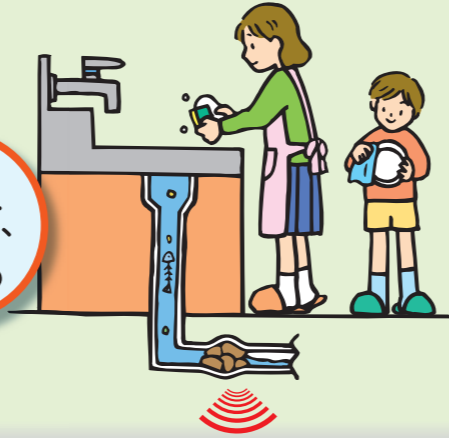
大切な下水道を守るためにわたしたちはどんなことに気をつけて生活するとよいのですか。



台所では



下水管をつまらせたり、きずつけたりすることがあるので、ごみや油を流さないようにしましょう。



水洗トイレでは



はい水パイプがつまることがあるので、トイレットペーパー以外の紙は、使わないようにしましょう。



まちでは



下水管がつまって、水があふれ出すことがあるので、みぞにごみをすてないようにしましょう。

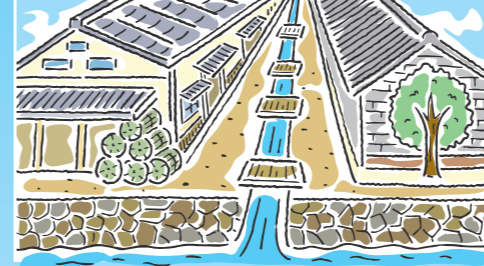


★指導上の留意点★
下水道も体もダイエット・・・「下水道を守るためにわたしたちにできること」の学習では 下水道に負荷をかけないよう 油をできるだけ減らした料理のレシピを作らせる活動なども考えられます。

9 下水道のうつりかわり

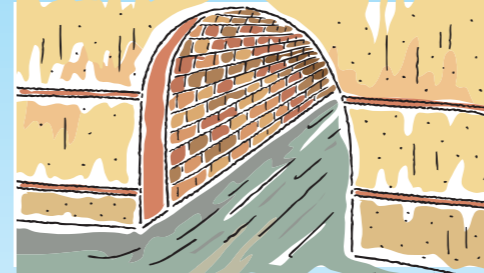
日本のうつりかわり

おおさか たいこう あづちもやま じだい
■大阪の太閤下水(安土桃山時代)



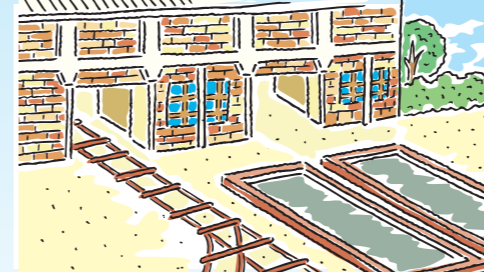
大阪城をつくるときに、まちづくりのひとつとして、おもに雨水を流すための下水道がつけられました。

せんだいし かん めいじ
■仙台市の下水道(明治)



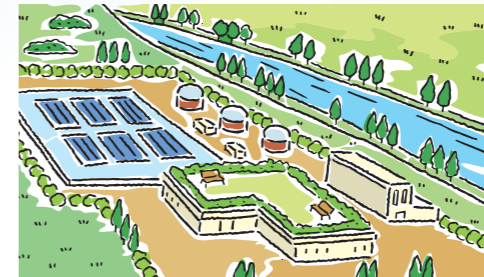
明治32年仙台でつくられたレンガ造りの大水管で馬のひづめのような形をしています。

にほんさいしょ しょりじょう みかわじま たいしやう
■日本最初の処理場・三河島処理場(大正)



日本最初の処理場である三河島処理場で大正11年に運転をはじめました。レンガ造りのとてもめずらしい建物で、当時評判になりました。

げんざい
■現在の処理場



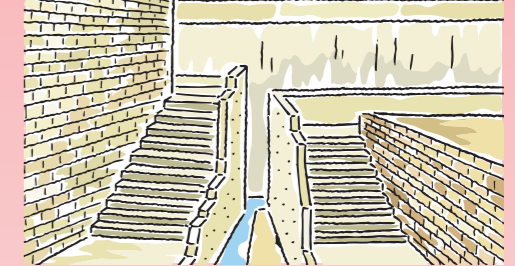
現在では、活性汚泥を使った処理場が中心となっています。

世界ではイギリスのロンドンで、日本では名古屋で最初の活性汚泥を使った処理場ができました。



世界のうつりかわり

きげんぜん
■モヘンジョダロの下水道(紀元前)



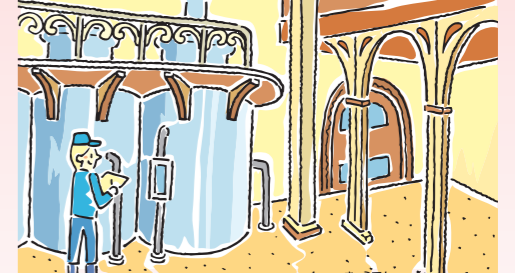
紀元前2000年頃に、インダス川流域のモヘンジョダロで世界ではじめて下水道がつけられました。

せいぎ
■イギリスの下水道(19世紀)



19世紀に伝染病を防ぐため、テムズ川沿いに、レンガ造りの大水管がつけられました。

■イギリスのポンプ場(19世紀)



イギリスのテムズ川沿いには宮殿のような大ポンプ場がつけられました。

○下水道はどのようにつくられたのでしょうか。

